

国際交流施設(仮称)が 平成20年度に着工予定

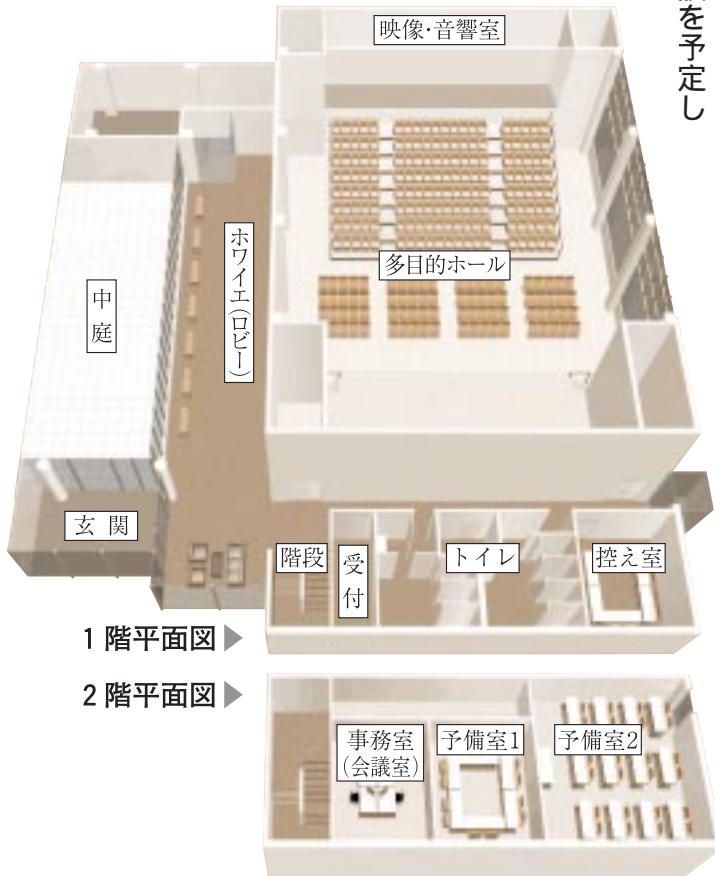
独立行政法人日本原子力研究開発機構は、現在「国際交流施設(仮称)」の実設計を行っており、平成20年度、21年度の2カ年で、幌延町公民館の北側空き地(旧幌延深地層研究センター跡地)に建設を予定しています。

施設の概要は基本設計によれば、鉄骨造一部2階建、延床面積が約950㎡(1階部分が約770㎡、2階部分は約180㎡)で、1階には多目的ホール、控え室、受付、トイレ、

2階には事務室、予備室1・2、映写・音響室などが整備される予定です。(今後、実設計において施設の概要やパース図の内容が変更されることがあります。)

施設は、原子力に関する国際的研究・学習の場として、また地元住民も有効に利用できる施設として整備される予定です。利用開始は平成21年10月の見込みです。

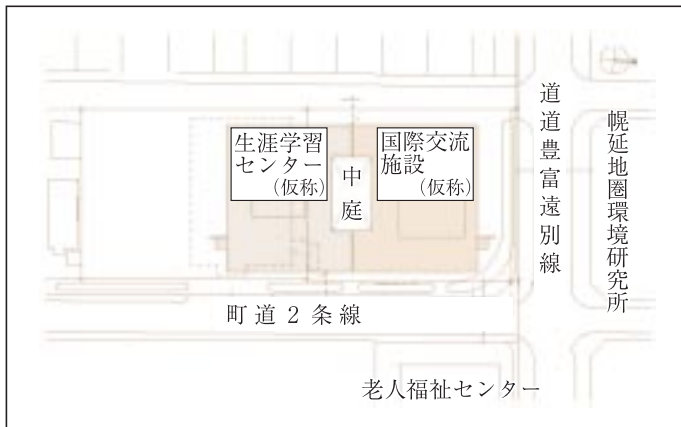
国際交流施設(仮称)パース図



1階平面図▶

2階平面図▶

今後実施設計において、施設のパース図の内容が変更されることがあります。



生涯学習 センター(仮称)を 併設します!



町でも、老朽化した幌延町公民館に替わる施設として、「生涯学習センター(仮称)」を平成22年度、23年度の2カ年で、現在の公民館敷地に建設を計画しています。生涯学習センターは、国際交流施設との有効利用を図るため併設で検討を進めています。

生涯学習センターの基本構想を平成19年度に策定し、20年度に基本設計、21年度に実施設計を行なう予定です。